

(注) 本相場見通しは、投資に関する断定的判断を提供、またその内容に関する責任の一切を負うものではありません。投資の最終判断はご自身でお願い致します。

配信停止をご希望の方は、こちらまで

<http://r26.smp.ne.jp/o/Pg/50361/HBa9CdH7ci0D/out?stop=ldog>

エース交易『外国為替投資戦略』(松田哲) 2009年01月09日(金)

明けましておめでとうございます！！

今年もよろしくお願ひ申し上げます！

今回は、ドル/円 (USD/JPY) をテーマにします。

+++++

1. [2009年01月09日] ドル/円 (USD/JPY) [月足]

<http://www.acefx.jp/images/report/20090109-1.JPG>

ドル/円 (USD/JPY) を長期チャート (月足) で見ると、「ピンクの破線」で表示したサポート・ラインとレジスタンス・ラインで、「三角持ち合い (ウェッジ)」を形成していた。

2008年1月に、「ピンクの破線」で表示したサポート・ラインを下に割り込み、「三角持ち合い (ウェッジ)」を下にブレイクした (下に放れた)。この時点で、「ドル売り円買い」のシグナルを発した。

2008年3月に、ドル/円 (USD/JPY) は95円台まで下落。

その後、110円台までリバウンド (反発上昇) した。

その際には、「緑の実線」で表示したサポート・ラインに従って上昇している。

2008年9月から10月に、この「緑の実線」で表示したサポート・ラインを下にブレイクした (下に放れた)。

この時点で、再度、「ドル売り円買い」のシグナルを発した。

現在（2009年1月の時点）でも、「ドル売り円買い」のシグナルは持続（継続）している。

+++++

2. [2009年01月09日]ドル/円(USD/JPY)[週足]

<http://www.acefx.jp/images/report/20090109-2.JPG>

ドル/円(USD/JPY)の週足チャートを見ると、2007年6月の124円台（このところの最高値）から、「青の実線」で示したレジスタンス・ラインに従って、ドル/円(USD/JPY)が下落した様子を読み取れる。

そのレジスタンス・ライン（青の実線）は、2008年3月の95円台から、110円台にリバウンドする際に上にブレイクされたが、改めて、「青の破線」で示したレジスタンス・ラインが形成された。

2008年10月になって、2008年3月の安値（95円台）を下に抜けたことで、トレンドが変わらずに「ドル安円高」であることを再確認している。

+++++

3. [2009年01月09日]ドル/円(USD/JPY)[日足]

<http://www.acefx.jp/images/report/20090109-3.JPG>

ドル/円(USD/JPY)の日足チャートを見ると、108円から104円程度の水準から、「青の実線」で示したレジスタンス・ラインに従って、ドル/円(USD/JPY)が下落した様子を読み取れる。

2008年12月に、87円台の安値を付けてからは、反発気味（リバウンド気味）になっている。

現在は（2009年年初の時点では）ドル/円（USD/JPY）が、大きく下落した後の調整局面にある。

「青の実線」で示したレジスタンス・ラインを上を抜けたようにも見えるが、トレンドが、変わらずに「ドル安円高」であるので、ドル/円（USD/JPY）をロング（買い持ち）にする必要はない、と考えている。

年明けは、目先、リバウンド（反発）気味の値動きになったが、基本的に、『ドル/円は売り場探し』と考えている。

様子を見ながら、出来る限り、良いコストで「ドル売り円買い」をすることを考えれば良い。

そうは言っても、なかなか『良いコストで』とは、うまくいかないものだ。だから、多少、損をする覚悟で、適当に、「ドル売り円買い」をすれば良い。そう考えれば気が楽だろう。

こういった値動きの場合に、「ドル買い円売り」を行うと、多少の利益になるケースが多い。しかし、それは、「目先の綾取り」。大局的な見地では、そういった売買はやらない方が良い。

『なんでも儲かりさえすれば良い』といった考え方は、最終的に、かえって損をする。

むしろ、多少の損をする覚悟を、常に持ち、トレンドに従った売買を心がける方が、最終的にうまくいくことが多い。

現在は、明確に「ドル安円高トレンド」であり、反転の兆しは、まだ、見えていない。

ドル/円のポジションを持つのなら、ショート（ドル売り円買い）

綾戻しを狙ったドル/円のロング（ドル買い円売り）は、まったく持つ気にならない。

（2009年01月09日東京時間11:30記述）

エース取引株式会社 オンライントレード部マーケティング担当

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-29-24 エースファーストビル

TEL:03-5485-4079 FAX:03-5485-5081

mail: fxmail@acekoeki.co.jp

ホームページ <http://www.acekoeki.co.jp/>

・ジャスダック証券取引所上場（銘柄コード：8749）

- ・金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第251号
- ・（社）金融先物取引業協会会員 / （社）日本商品投資販売業協会会員

本外国為替証拠金取引「エースでねえ！FX」（以下、本サービス）を提供する者の名称はエース取引株式会社（登録番号：関東財務局長（金商）第251号）、社団法人金融先物取引業協会および社団法人日本商品投資販売業協会に加入している金融商品取引業者です。

本外国為替証拠金取引「エースでねえ！FX」は商標登録出願中のサービス名称です。本サービスは証拠金による取引であり、実際の取引金額は証拠金の額に比して大きい場合、少額の資金で大きなポジションを保有することが可能ですが、その損失の額が当初預託していただいた証拠金額を上回る可能性があります。

各国の政治、経済状況の変化及びそれに関連する金融市場の変化、金利相場、外国為替相場の変動、スワップポイントの支払い、およびレバレッジを高めた場合、預託した証拠金の損失、若しくは預託した証拠金を上回る損失となる可能性があります。

本サービスの最低取引単位（1枚）は1万または10万通貨単位です。売買手数料は無料、預託していただく証拠金の額は、1枚あたり4,000円～2,200,000円で、通貨ペアの種類等により決まります。

現受けの際は1通貨あたり50銭の手数料および5,000円の送金手数料がかかります。

本サービスでお取引を始める際の証拠金に対する取引金額の比率は、約1倍～約200倍（2008年12月1日現在）で、日々の為替レートや証拠金額の変更等で異なります。

当社が提示する各通貨の価格及びスワップポイントは、売付けと買付けの価格に差があります。

> ご契約の際は契約締結前交付書面を十分お読みになり、リスクや取引の仕組み等の内容をよくご理解いただき、ご自身の判断と責任においてお申込みください。

> お客さまのご相談につきましては、当社本社内 / 営業管理部顧客サービス担当（電話：03-5485-4161）、若しくは金融商品取引苦情相談窓口（電話：0120-64-5005）までどうぞ。

本メールはお客さまへの情報提供のみを目的として作成したものであり、投資の勧誘並びに、断定的な投資判断の提供を行うものではありません。また、本メールの内容の利用に際しては、お客さまご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。本メールは信頼できるとされる各種データに基づき作成していますが、エース取引株式会社はその正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本メールに記載されている内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。本メールは宛先名にあるお客様に限りご利用ください。従って、メール内容のいかなる部分も複製または転送等を行わないようお願いいたします。また、送信上の誤操作により、受信される予定でない方に配信されました場合は、送信者までお知らせいただき、受信された本メールは削除下さいますようお願いいたします。電子メールの特性上、送信過程で内容

欠落、送信遅延、ウィルスの混入その他の不都合が生じることがございます。これらにつきましてエース取引株式会社は責任を負いかねますのでご了承下さい。また、エース取引株式会社は本メールの送信先を閲覧する権限を持っています。

お客様の個人情報は、当社の個人情報保護ポリシーに基づき、適切に管理させていただきます。

・個人情報保護ポリシー: <http://www.acekoeki.co.jp/site/privacy.html>

弊社に関するお問い合わせは下記URLよりお願いします。

<http://www.acekoeki.co.jp/site/form.html>